



サカタ二友の会ニユース

発行者  
**株式会社サカタニ**  
**集西楽・サカタニ**  
**ファミリーマート**  
**サカタニ京阪七条店**  
 〒605-0993 京・東山区七条こころ坂下  
 ・075-561-7974  
[URLwww.sosake.jp/](http://URLwww.sosake.jp/)  
 E-mail・info@sosake.jp  
**とんからりん**は  
 毎月発行の  
 会員新聞です  
 編集・西谷義郎  
 yosi rou@sosake.jp

# 滅私奉公・公僕

「メッシホウコウ」「コウボク」「メッコウホウシ」と読む。読みと意味が解かる方は、後期高齢者だけかも知れない。

は昭和20年8月15日以後、滅多に使われないう言葉。私を殺しても主人に仕える意味で戦時中は「公」国家・天皇」だとして日常的に使われた。は戦後に巡査(警察官)がサーベルを廃止で警棒になった頃に使われた。怖かった巡査が優しくニコヤカになった。国民の僕(しもべ)になった頃流行した。官吏を公務員と名称が代わった頃である。

は勿論 も田中角栄の列島改造と共に死語となつたようだ。

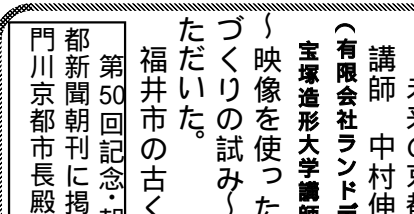
「滅公奉私」は、をもじつた造語で森喜朗氏が総理時代、自らの座右の銘として「滅私奉公」を使ったところからネット上



現在京都市管理の南禅寺近くの「無燐庵」明治元勳山形公別邸・明治時代から政治家には別荘が好きな方が多いようだ。井戸・堀をなくすお方は稀なのかな。下は元中曾根氏所有の日の出山荘



は所得控除の恩恵があるらしい。政治家とは常に



自分の都合の良いように法律をつくる習性があるようだ。お寶銭でも感謝の心とともに何かのご利益を期待する庶民は、何百何千万単位のお金を単なる「善意」で差し上げる企業があるなど信じられない。滅私奉公までは期待しないが「公僕」くらいの精神になってほしい。

**電話加入権は**  
**何処へ消えた?**  
 古い決算書類整理中、奇妙なことを発見した。決算書にある無形固定資産の「電話加入権」科目が何時の間にか消えている。電話加入権「電話設備費のこと電話を設置する時必ず支払った費用。33年前の当社決算書では32万円だった。有る得意先の不払い事件で加入権の差押訴訟を起したとき勝訴したから法的に無形資産であったのは確か。それ以後何時かの決算で償却したのだろう。償却は利益を減らすこと。まあ税金が節約になると気楽に処理をしたが不景気の今、チョッと惜しい気がする。

お金は確かに払っている。償却済みで当社の資産とは言わないが「お金は何処へ消えたか?」どなたかご存知ありませんか? 通信省絡みと思つて...

**第51回・3/15(日)開催**  
**朝粥食べて**  
**おシャベリ会**

朝粥を食べる前・(9時~9時40分)「まちコラ」で探る

未来の京都」の題で講師 中村伸之様に(有限会社ランドデザイン代表 宝塚造形大学講師)

映像を使った景観まちづくりの試みのお話いただいた。

福井市の古くからあるお早くご予約下さい。

第50回記念・朝粥食べておシャベリ会が翌々日、京都新聞朝刊に掲載されました。記事をご覧ください。門川京都市長殿より、お祝いのお電話を戴きました。



52 回 朝粥は、4月19日・講師 中村伸之様 弘道様

朝粥の会で中村伸之様から「映像を使った景観まちづくりの試み」の例として福井市の商店街経験のお話を見聞きました。

電柱を撤去し歩道を広げ街の景観を工夫しながら改造された。改造前後を映像で比較され一目瞭然。「福井の市民力」に敬意を表したい。

振りかえて、わが東山をみる。世界遺産の清水寺、社寺が集中している。東山と鴨川に挟まれた坂が多く、縦貫する通りは二本で道幅も狭い。

観光シーズンは狭い通りも渋滞する。三条、四条は既に、今、五条通は電柱が地中化完了真近。順番として次は七条だが何時になるやらか? 地形的に道路の拡幅は難しい。高齢者や観光客に東山区に道路は「優し道」とは言えない。東山区全域の電柱地中化を願う。祇園ができたのだから不可能では有るまい。歩いて安全、歩きやすい道は行政、社寺、商店、住民、の知恵を集めれば現状でも工夫すれば少しは改善できる道はあるだろう。イヤ必ずある!





# 酒屋で生きて 生かされて

## 第二十六話

### 厚司の法被・前掛

朝日麦酒(株)江井ヶ島酒造(株)協和発酵(株)等債権者の半額出資の株式会社酒谷本店に昭和31年(1956)1月1日付で酒卸乙免許が(税務署から)下りました。

社長は父一郎、専務江井ヶ島酒造(株)から常務は三重県の酒造家、取締役に協和発酵大阪支店長、監査役は当時朝日麦酒京都支店長渋谷謹次氏の体制でスタートしました。

私の仕事時間外にする夜の活動を債権者も認められ、月給は社内最低額の条件で参加。会社は、私も含む外交員3名事務員2名配達3名で再出発しました。

当時、戸籍上独身の父と、私や住込み社員全員、食費払い賄いさんに、身のまわり世話には知人奥さんに頼んでいました。今、常務の弟(宗男)は幼稚園児、妹二人は中・小学生で祖母の住む吉田にいました。その祖母が、丁稚用の厚司の法被(ハッピー)筒袖の仕事



着)と前掛けと角帯を出してきて、「これを着て頭を低く

してお得意先廻りをおし」と渡されました。(注)厚司・大阪特産の丈夫な厚手綿布のこと

私はその法被前掛姿で、担当した東山、伏見の酒屋さんにご注文取りに廻りました。七ヶ月余の休業、それに上り一度潰れそうになった店です。地元で集中して貞教、修道、一橋、今熊野の酒屋さんを重点的に自転車のハンドルに酒屋袋を引掛け、ひたすら、ご注文を聞きに訪問しました。

東山区は祇園に老舗の浅井商店という強力な酒問屋の地盤、他の四つの酒卸店がある激戦地でしたから。商売ですから、近いだけでは、弱い店と取引する酒屋さん少なく当然です。お取引は僅かな店

しか出来ませんでした。近く親しくても自分に力(信用)が無いと駄目と言うことも勉強できました。

売上を上げないと会社は持ちません。山科、左京でお得意先を増やし、父が開拓した大津、守山も私が担当することになり、会社も一応安定してきました。この間の実体験は、私に「他人に頼るので無く、頼られるために、自らの力を強くする」との教訓を叩き込んでくれたのです。

会社も、2期、4期は若干利益計上ができました。昭和35年春、協和発酵が「ラビ」発売、ビール類似発泡酒が発売されその扱いで問題が起こります。(詳細は次号)

### 節分の壬生狂言

金澤 ひろあき

仕事を少しだけ早く終えて、壬生寺へ行きます。節分の二月二日と三日、壬生寺で壬生狂言が演じられます。演目は「節分」。まさに季節そのものです。

阪急電車で四条大宮で降り、四条通りを西に行きます。四條通りに面したお寺では、節分ということで火を焚き、お神楽をしています。厄除けになるそうです。

その神社の通りを南に下ると壬生寺ですが、小さな狭い通りに夜店が出て本堂にお祭りです。壬生寺の境内も屋台がびっしり。お祭りなので人

イチローに感謝して父の30年祭を致しまして影響で編集後記に不釣合いな記事を書きました。写真で父とイチローは同程度の大きさですが、近頃、新聞に毎日載る小澤さん、お顔は大きくしましたが全体は小さくした方が良いと配慮しました。



酒谷一郎

小澤一郎

鈴木イチロー

### 編集後記

WBCで日本が韓国に勝ち2回連続で優勝した。緒戦から調子が悪かった「イチロー」の後半の活躍が光った。

「イチロー」と名前がアナウンサーされる度にビックリとす。鈴木一郎と字は違うが一郎がわが父の名前だ。「とんからりん」に祖母のことは書くが父は殆んど登場しない。祖母は常に教師であったが父は私にとって「反面教師」の存在であった。私に無い良いところが多い人だが、迷惑なこと多かつた年齢差17歳の父上だ。

て鬼を退散させます。豆をまくたびに、鬼はおおげさに転びます。鬼と言っても、女に弱い…。これが四十分ほど演じられますからかなりの熱演です。壬生狂言ではセリフがいつさもなく、ガンデンという打楽器に合わせて踊ります。パントマイムです。もともとは文字を知らない民衆に、仏教をわかりやすく伝えるために始めたものだそうです。こつこつ芸能も、のどかで良いもんです。

節分の福連れ帰る年男

ひろあき

壬生狂言

鬼の震える息白し

ひろあき

父がいて母がいて私があるから、弟妹達がいる。その周りにには勘定ができないほど縁者がいる。これは、父・母が私を産んだ結果的成果。私は「イチロー」を越えることはできない。母も越せない。